

# 令和4年度札幌市定山溪自然の村管理業務実施報告書

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

## 1 統括管理業務

### (1) 管理運営業務の基本方針及び事業目標

施設の持つ自然環境を最大限に生かし、事業の充実、自然体験活動機会の創出及び提供を行い、コロナ禍における感染症対策による施設利用制限の中、施設の安定的かつ効率的な管理、計画的な予算執行に取り組んできた。落石防護柵設置における施設休業（9月11日～10月31日）があったため、利用者数など数値目標に届かない項目があったが、土曜日や小学校の長期休業時は常に満室に近い利用状況であった。募集事業についても全事業、定員を上回る申し込みがある状況であった。また、利用制限のため中止していた「森の観察会」や「森の工作会」など事業を再開し、自然体験プログラム・森林環境教育の充実に努め、施設利用や事業を含めた参加者アンケート満足度では、すべての項目で高評価となった。

#### 基本方針①

「雄大な自然と、たくましい開拓精神をもって築かれ、大きく発展し続ける希望のまち札幌。そのランドマークともなる定山溪の豊かな自然環境や風土、歴史を最大限活用した野外教育の拠点施設として、子どもが学び、大人が安らぎ、親子がふれあい、誰もが支えあうことができる、そんな魅力と希望にあふれる施設運営を目指します。」

誰もが気軽に自然体験活動ができる野外教育施設として、自然の村の豊かな環境を生かしたプログラム提供と各利用のニーズに寄り添った体験活動機会を施設利用や各事業を通じ提供した。

#### 基本方針②

「人と人のつながり、人と自然のつながり、自然と未来のつながりを常に意識し、持続可能な社会と未来を創造する人づくりを目指します。」

自然の中で活動することや各事業を通じ、自然とのつながりや大切さを学び、生活と紐づけて学ぶ機会を提供した。

#### 基本方針③

「第3次札幌市生涯学習構想、札幌市の教育推進の目標及び教育推進の指針など、札幌市の生涯学習の推進に関連する諸施策を踏まえ、札幌市の野外教育施設として、常にサービスの向上と社会的課題の解決に向けての取組を実践します。」

教育関係機関の利用や児童を対象に自然に関する多様な体験プログラムや各団体の利用ニーズに合わせた体験機会を提供した。

### <重点目標への取り組み>

#### ①札幌市内の児童に対する自然体験活動プログラムの提供

自然の村の施設環境を最大限に活かしたプログラムを提案し、札幌市内の児童に対し「学び」と「あそび」の機会を提供した。小学校2校の受け入れや、札幌市児童会館を対象とした自然体験事業「ようこそ児童会館」を実施。また、当財団が管理運営している千歳市児童館の受け入れを行い、村内や定山溪遊々の森をフィールドとして「あそびと学び」をテーマにした自然体験プログラムの提供を行った。

#### ②自然体験活動に対して特別な支援を必要とする児童等を対象としたスペシャルニーズキャンプの実践

過去3年間で培ったプログラムを更に実践と検証を進め、体験活動機会の平等化を図った。また、今まで蓄積してきたプログラムを札幌市内及び近郊の中学校特別支援学級等に

広報し利用促進につなげた。これまで培ってきたモニタープログラムをもとに、今年も引き続き特別支援学級の受け入れ（小学校1校、中学校3校）を行った。そのうち中学校2校は今までの日帰り活動から宿泊活動へステップアップした形での利用となり、宿泊活動とおした生活体験（調理活動・入浴や就寝準備、身支度や片付けなど）へのサポートなど、利用団体のニーズに合わせたプログラムを展開し、利用者一人ひとりに寄り添ったプログラム提供を行った。

### ③利用促進を目的とした事業の実施

誰もが気軽に自然と触れ合うことができる野外教育施設として、周辺フィールドや今までの事業ノウハウを生かし、誰でも挑戦できる自然体験プログラムの開発と提供を行った。新規利用者の獲得を目指し、自然の村の環境を生かした新たな野外活動や自然体験活動の提供を行う「Nature Village ニューキャンプスタイル事業」を実施。星空やネイチャーフォトに精通しているプロカメラマンを講師に招き実施した「定山溪 Photo キャンプ」など、定山溪自然の村の環境を生かした、より専門性の高い事業や気軽に参加できる体験としてスキー板を履き雪上を歩くことや滑ることが容易にできる「スノーハイク体験会」など、職員による新たなキャンプの過ごし方や楽しみ方の提案を行った。また、石狩管内の小規模校の学校に向けた誘致資料を送付し、施設広報を図った。その他、コロナ禍で中止していた「森の観察会」「森の工作会」を12月から再開した。参加者からは好評の声を得ており、利用促進の一環となっている。

### ④SNS や HP を活用した利用促進事業の実施

自然環境や自然体験活動などの魅力を発信し利用促進につなげた。また、WEB で予約できる施設の拡充を図り、事務の効率化と利用者の利便性を高めることで利用促進につなげた。Instagram・Facebook など SNS を活用し、事業情報や施設からのお知らせを発信するほか、YouTube にて活動の様子を配信し、当日の様子を動画で見えていただくことで参加することができなかつた方でも楽しんでいただけるよう取り組みを進めた。公式ホームページから遷移する WEB 予約について、テントサイト一部のインターネット予約を一年間の運用の中で検証し、不具合を適宜修正しつつ、より利便性の高い運用に向けての検討を行った。

### ⑤他団体や企業との連携を強化し、利用促進に繋がる教育的効果の高い事業を多様な手法を用いて実施

野外教育施設として提供する体験活動をさらに効果の高いものとするため、アウトドア企業や地元企業と連携し、地域の活性化や野外活動の振興、施設を知っていただく機会として「定山溪ウインターキャンプフェスティバル」を実施した。その他、市立藻岩高等学校（南区探求 MSP 授業）、札幌市青少年科学館（移動天文台事業）、札幌市円山動物園（象の食べ残した木々を薪として利用した焚き火事業）など、他団体と事業連携することで、教育効果の高い事業を提供することができた。

### ⑥野外施設部内の連携強化及び、他セクションの強みを生かした事業連携強化を図る

財団経営理念の達成に向けた、野外施設部及び財団内の連携による事業展開強化を行った。「森のようちえん」（市民参画課環境プラザ）では子育て世帯、「ようこそ児童会館」、「定山溪小ミニ児童会館クラブ活動」（こども育成課）では児童、「社会的課題解決事業」（こども事業課）では若者・ヤングケアラーを対象に連携事業を実施した。それぞれの課や施設、職員が持つノウハウを生かし、多角的な視点を入れたことで、事業の広がりとともに事業連携強化を図ることができた。

(2) 数値目標と実績

①利用者総数

令和4年度実績 13,953人（令和4年度目標 16,700人）

②事業プログラム参加者総数

令和4年度実績 4,204人（令和4年度目標 4,500人）

③参加者アンケートにおける満足度

令和4年度実績 99%（令和4年度目標 98%）

④冬期野外活動の提案（下期利用率）

令和4年度実績 30.5%（令和4年度目標 35%）

⑤セルフモニタリング調査（実施件数）

令和4年度実績 400件（令和4年度目標 400件）

⑥実践型森林環境教育の推進（参加人数）

令和4年度実績 1,259人（令和4年度目標 1,200人）

⑦貸室業務（利用料金収入）

令和4年度実績 13,564千円（令和4年度目標 16,750千円）

(3) 平等利用の確保に向けた取組項目

施設の利用申込に際し、年齢、性別による対応の格差を生じさせないよう、公平で平等な市民対応を原則として、個別の要望・事例にも誠実に耳を傾け、一人ひとりの利用者に向き合う姿勢を維持することに努めた。また、事業においては、定員を超える応募があった場合、抽選を実施し公平に参加者を決定した。チェックイン受付時は、番号札順に受付を行うなど、平等性を保つ事に努めた。

(4) 地球温暖化防止対策及び環境配慮の推進

各種事業をとおして市民の地球温暖化防止への「意識」を「行動」に変革できるよう努めた。また、エネルギー管理標準に基づき、電気・ガス・水道・燃料の使用、塵芥処理量の削減など環境へ配慮した施設運営を行ったとともに、エネルギー消費量を継続的に記録し、エネルギー消費削減意識の醸成を促した。

(5) 管理運営組織の確立

統括管理者に財団課長職を配置し、財団本部と連携しながら業務を遂行した。また、自然体験活動に関する専門的な指導、施設管理に伴う技術など、各業務において専門性を要する業務が多いことから、業務分担により職員間の業務引継ぎを行うとともに、適宜職員研修を実施した。財団では、労働基準法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法等の労働関係法令を遵守するとともに、厚生労働省ストレスチェック制度の導入及び職員のためのメンタルヘルス相談窓口を開設し（産業カウンセラー）、雇用環境維持に努めた。

(6) 管理水準の維持向上に向けた取組

財団総合ネットワークシステム及び、定例的な職員会議、担当別会議による組織内の情報共有、更新を図った。また、利用者アンケート等から事業、管理における現状の把握と分析を行い、改善に向けた具体的な取組を策定し、利用者満足度の高い施設運営に取り組んだ。また、モニタリング調査により、より具体的なニーズや野外活動に対する意識調査を行い、今後の運営につなげる検討を行った。

(7) 第三者に対する委託業務等の管理

各業務とも、毎月末に業務完了届を提出させ、業務検査を実施した。また、日常業務においては定期的に履行確認を行い、適正に業務が遂行されているか確認した。また、札幌市暴力団の排除の推進に関する条例に基づき、暴力団を利することとならないよう、第三者委託及び物品購入等において、暴力団及び暴力団関係事業者と契約しないよう積極的に取り組んだ。

(8) 札幌市及び関係機関との連絡調整

「札幌市定山溪自然の村運営協議会」を令和4年7月21日・令和5年2月21日に2回開催した。利用促進活動についてのアドバイスや事業の運営方法についてご意見や評価をいただいた。さらに各委員からの助言、励ましの言葉を頂戴した。また、管理運営にあたっては、関係機関との協力体制を確立し、適宜連絡調整を行った。

(9) 財務

運営資金は財団事務局で集中管理しており、電算ネットワークシステムにより、適正かつ迅速に経理処理（月次・年次決算等）を実施した。事業における参加料等は概ね収入当日または翌日には財団指定金融機関口座への預け入れを完了させ、資金管理を徹底して事故防止に努めた。また、他課担当者による内部監査を実施し、運営状況に不備がないかの第三者確認を行った。

(10) 苦情対応

市民から寄せられたすべての要望・苦情等の他、施設利用後のアンケート調査内容を真摯に受け止め、解決に向け迅速かつ誠意ある対応をするとともに、スタッフ間で情報を共有し再発を防ぐよう努めた。

(11) 記録・モニタリング・報告・評価について

年間の事業計画書をはじめとする提出書類や業務日誌等の日常の記録書類、及び統計資料等、何れも当初の計画どおり確実にデータとして保存した。また、札幌市の業務検査等に対し、誠実に対応した。利用に関してのアンケート調査を継続的に行い、利用満足度を測定するとともに、意見、要望の把握に努めた。

## 2 施設・設備等の維持管理に関する業務

### (1) 総括的事項

#### ①安全・危機管理対策

令和2年3月27日に発生したアプローチ園路落石に伴う対策として、落石防護柵の設置工事が令和4年9月11日から11月30日までの工期で行われ、10月31日まで施設は臨時休業となった。11月1日からは施設が再開したが、11月30日までの工期終了までの期間は園路通行時の声かけや掲示物の設置など、利用者に対し注意喚起を行いながらの運営を行った。新型コロナウイルス感染症対策としては、消毒液の設置や職員のマスク・手袋の着用、受付の飛沫防止シートの設置や、番号札の配付による密回避などを行い運営した。施設利用数については令和2年6月1日から制限を行ってきたが、社会情勢の変化を鑑み、令和4年6月よりコテージおよびテントハウスの利用施設数の制限緩和を順次行った。事業についても家族単位での活動やグループ単位での活動を中心としたプログラム構成で実施し、マスク着用（屋外で他グループと距離が取れる際は熱中症防止のためマスクの脱着等の声かけ）、手指消毒の声かけ、ソーシャルディスタンスの徹底などを行いながら進めた。

#### ②宿直業務

宿泊利用があった場合は、不備なく職員を配置した。また、巡回により村内の状況を把握し、急病や不測の事態に対しては利用者の納得が得られるよう誠意を持って対応した。

### ③連絡体制確保

各関係機関との連絡体制を整備した。

### ④保険加入

施設賠償保険をはじめ、事業等においてそれぞれに適した保険に加入した。

## (2) 施設、設備等の維持管理

### ①清掃業務

村内の建物及び主要箇所の日常清掃、ワックス掛けやガラス清掃等の定期清掃は専門の清掃会社に委託し実施した。また、巡回点検により臭いや突発的な汚れに対処し、衛生管理に努めるとともに、利用者に対しても原状回復への協力を求めた。

ア 日常清掃業務（委託業者は株式会社ベルックス、実施期間は通年）

イ 定期清掃業務

（委託業者は株式会社ベルックス、実施日は令和4年6月22日、11月18日）

ウ 館内外の日常点検（日常点検として指定管理者が実施）

エ 塵芥処理業務

塵芥処理は、専門処理事業者に委託して実施した。また、利用申込受付時点でゴミの持ち帰りを呼びかけ協力を求めるとともに環境保全を啓発しゴミの少量化を図った。（委託業者は（一財）札幌市環境事業公社、実施期間は通年）

### ②警備業務

夜間警備や駐車場警備、年末年始を含めた休業日等の警備など主たる警備業務は専門の警備会社に委託し実施した。また、事故や自然災害など不測の事態に対しては、緊急連絡体制を整備、その対応に備えた。

ア 警備業務

I 警備業務（委託業者は株式会社ベルックス、実施期間は通年）

II 駐車場整理・夜間警備業務

イ 火災・事故の防止（日常点検として指定管理者が実施）

ウ 火災・事故等不慮の事故が発生した時の緊急対応（緊急連絡網による）

### ③施設及び設備の保守点検業務

設備点検業務については以下の項目毎に実施した。自家用電気工作物保守点検など専門技術を要するものについては、専門業者に委託して実施し、それ以外は、指定管理者が日常業務として実施した。

ア 電気設備保守業務

I 電気保安業務（日常点検として指定管理者が実施した）

II 館内外放送設備保守管理（ 〃 ）

III 館内外照明設備保守管理（ 〃 ）

IV 自家用電気工作物保守点検業務

（委託業者は山口電気管理事務所、定期点検を毎月1回、年次点検実施日は令和4年10月29日）

イ 機械設備保守業務

I 給湯設備保守点検（日常点検として指定管理者が実施した）

II 換気設備保守点検（ 〃 ）

III 給排水設備保守点検（ 〃 ）

- IV 受水槽清掃、11項目の水質検査、汚水槽清掃、汚水ポンプ清掃・点検  
(委託業者はパイプ技研工業株式会社で、実施日は令和4年6月22日)
- V 受水槽外観、給排水ポンプ、遊離残留塩素測定 of 各法定点検  
(毎週金曜日に指定管理者が実施)
- VII 給湯ボイラー設備保守点検業務  
(委託業者は株式会社ベルックス、実施日は令和4年7月14日、令和4年11月18日、令和5年2月14日)

ウ 消防設備保守業務

消防設備点検については専門的技術を要することから専門業者に委託(株式会社ヤマ商会、実施日は令和4年10月1日、令和5年2月14日)し、保守点検を実施した。

エ 建築設備点検業務

建築設備点検については専門的技術を要することから専門業者に委託(株式会社ベルックス、実施日は令和5年2月14日)し、設備点検を実施した。

オ 施設保守業務

各施設が正常に機能していることの確認は、基本的に巡回点検によって実施した。また、利用者や清掃員等からの具体的な機能低下の報告に対し、迅速に対処した。主な施設のほか付帯施設を含めた総合的な保守点検については、指定管理者の巡回点検により実施し施設の細部に至るまで状況把握に努めた。

カ 修繕業務

各施設、施設設備については利用者が安全に使用できる環境を整備するため、また、運営において施設管理上必要な物については、迅速に修繕対応を行い、不備のないように努めた。

一部修繕内容について以下のとおり

- ・テントハウス煙突漏水修繕
- ・アスレチック遊具修繕
- ・コテージブラインド修繕
- ・コテージ蛍光灯修繕
- ・テントハウス調光器修繕
- ・村内通路栈橋修繕
- ・トイレロータンク漏水修繕
- ・洗濯機修繕
- ・横断側溝修繕
- ・コテージ、テントハウス、調理室ストーブ修繕
- ・ホイールローダー修繕
- ・除雪機修繕

④外溝緑地管理業務

ア 植生育成管理業務

植生の管理については、冬期間の降雪時期を除き指定管理者が実施した。

イ 防虫消毒業務

時期的に大量発生し、不快感や直接害を及ぼすカメムシやアリなどについては、忌避剤や防虫剤を常備し、随時対処した。また、人体ショック症状等の危険を伴うスズメバチに対しては、村の外周に捕獲器を配置し村内への侵入防止に努めた。

#### ⑤除雪業務

駐車場及び村内主要道路については、専門業者に委託して実施した。また、各施設周りや主要活動場所等については指定管理者が除雪し、屋根の雪下ろし、各施設の雪庇落とし及び落雪危険箇所の立ち入り制限なども併せて実施した。(委託業者は中定建設工業株式会社、期間は令和4年12月1日～令和5年3月31日)

#### ⑥その他施設の維持に必要な業務

各種備品の保守点検や公用車の維持管理及びテントサイトの芝生管理等は、必要に応じて指定管理者が実施した。また、施設の雪や氷の影響に対する補強及び風や低温に対する防護など越冬対策を確実に実施した。備品管理については確認、修繕を行い、適正に使用できる状態を保持した。

- ア 備品管理業務 (日常点検として指定管理者が実施)
- イ 公用車の維持管理 (法定点検、オイル交換、洗車等の実施)
- ウ 施設の衣替え業務 (春季、秋季に計画どおり実施)
- エ テントサイトメンテナンス業務 (芝の手入れ等を実施)
- オ 産業廃棄物の処理
- カ 自然の村内外の危険木(倒木、支障木)処理

#### ⑦防災業務

年に2回消防訓練を行った。各日ともに実際の火災を想定したシミュレーションを行い、日中の職員が多いパターンでの火災発生、夜間の宿直者と警備員のみが勤務している火災を想定し、消防への通報(模擬)や村内放送、避難誘導、宿泊者チェックなどの一連の流れを模擬訓練として実施した。(実施日は令和4年6月21日、令和5年3月15日)

#### ⑧野生生物対策業務

春の雪解けと共に電気柵を設置し、ヒグマの活動が収束する冬までの間、その機能を維持するための点検及び電圧の調整を行った。また、自然の村活動エリアの巡回監視コースを週2回程度及び小学校夏季休業期間は毎日巡回パトロールを実施し、利用者の安全を確保した。

### 3 事業の計画及び実施に関する業務

#### (1) 自然体験活動のため、自然の村の施設を使用させ、必要な指導助言を行う業務

具体的な事業実施報告は以下のとおり

事業名	実施状況	参加者数等
教育機関 宿泊活動支援事業	札幌近郊の小学校宿泊学習の受け入れを行い、森林観察やまき割り体験、炊事体験などのプログラム提供を行った。各学校のニーズに応え、随時実施した。	小学校2校 29人
団体指導事業	各種活動団体からの指導依頼に対応し、野外活動、環境教育、リスクマネジメント等に係る指導事業として、薪割り、焚き火指導、定山溪遊々の森でのスノーシューガイドを行った。	3団体 69人
森の工作会	自然素材を用いた創作活動をとおして、創造力や発想力、表現力を養うと共に自然に対する理解を深める機会を提供した。	130人
飯ごう・羽釜体験会	キャンプ活動に必要な基本的技術や火の扱い方を習得する機会を提供した。また、手軽に参加できる環境を整え、アウトドアクッキングの魅力を伝えた。	77人
石窯料理体験	石窯を使用し、ピザ等のオープン料理を体験することによりグループでの共同料理を楽しむ機会を提供した。また、手軽に参加できる環境を整え、アウトドアクッキングの魅力を伝えた。	442人
森の観察会	周辺フィールドを散策し、樹木、野草、動物の痕跡等を観察しながら森歩きを楽しむ機会を提供した。	33人
銀河の会	星空や天体の観望を行い、市民の学習機会を提供する予定であったが、天候不良のため中止とした。	中止
キャンプファイヤー	週末および夏休み期間に全宿泊者対象の全体交流の場を提供する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
ナイトハイク	夜行性の動物や夜の森の様子を知ることがを目的とし、夜間の特性を生かした自然体験の機会を提供する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
わくわくラリー	村内にクイズラリーを設置し、野生生物や森に関するクイズを出題した。	350人

#### (2) 自然体験活動の普及振興に関する業務

具体的な事業実施報告は以下のとおり

事業名	実施状況	参加者数等
フルーツ・スイーツ倶楽部	北方自然教育園で収穫した作物を使用した料理体験を実施する予定であったが、落石防護柵設置における施設休業のため中止とした。	中止



スペシャルニーズ キャンプ	小・中学校特別支援学級の日帰り・宿泊利用の受け入れと継続したモニター調査事業を展開した。不安点や疑問を解消し、利用者に寄り添ったプログラムを作成し提供した。	小学校 1 校 中学校 3 校 62 人
森の探検隊	森林管理署と事業協定を締結している「定山溪遊々の森」において森林環境教育プログラムを体験し、森からの学びを身近な自然や地域環境への理解につなげる機会を提供した。落石防護柵設置における施設休業のため 1 回中止とした。	3 回 11 組 35 人
昆虫博士キャンプ	小学生を含む親子を対象とし、昆虫とのふれあいをおし身近な地域環境に目を向けるきっかけとなる機会を提供した。落石防護柵設置における施設休業のため 1 回中止とした。	5 回 21 組 72 人
昆虫博士中学生	中学生を対象に、昆虫をとおした自然体験の提供として、1 回目は自然の村のフィールドで観察と採取を行い、2 回目は北海道総合博物館にて標本作りを行った。同じ分野に興味のある仲間との出会いや昆虫に関わる仕事として将来について考える機会として実施した。	2 回 20 人
社会的課題解決事業	自然体験活動に関する施設やノウハウを基にヤングケアラーを対象に自然体験活動を展開した。自然環境の中で、日頃なかなか経験したことがない体験として BBQ や自然散策など豊かな時間を過ごした。	1 回 7 名
インターンシップ	教育機関と連携し、施設管理や主催事業の運営サポートなどに関わっていただき、学生の実習支援を行う予定であったが、参加申込がなかった。	参加者なし
ボランティアスタッフ 育成	各種自然体験活動・主催事業をサポートするボランティアの登録をしていただいたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業については中止とした。	登録 11 人 育成事業 中止
親子で『コソ練』 キャンプ	キャンプ経験の無い親子を対象とし、キャンプに必要な道具とその使い方を知り、練習する機会の提供を行った。事前にアンケートを実施し、参加者のニーズに応えることができた。	2 回 9 組 26 人
ようこそ ファミリーキャンプ	これからキャンプに挑戦しようという家族を対象に、宿泊キャンプ体験事業を実施した。テント設営や野外料理体験のレクチャーを行い、家族の時間や協働を分かちあう体験機会を提供した。	2 回 10 組 32 名
森のようちえん	・野外活動を取り入れた子育て支援の場とし、宿泊型キャンプを体験する機会を提供した。 ・札幌市環境プラザと協力し、プログラムの企画立案と運営を共同実施。自然の村の自然豊かなフィールドと北海道大学構内の都市型のフィールドを活用して実施した。	2 回 10 組 36 人 ※定山溪 自然の村 実施分

親子で冬キャン!!	冬キャンプに関心のある親子を対象に、雪上テント設営など家族単位の冬期野外活動の促進を図る機会とした。当日は極度の低温となったため、テント泊からコテージ泊に変更して実施した。	1回 4組 13人
提案型団体誘致事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ようこそ児童会館」の児童向けプログラムをもとに自然体験プログラムを提案した。</li> <li>・札幌近郊の小学校を中心に宿泊学習資料を送付し積極的な誘致を行った。</li> </ul>	随時
定山溪 スノーハイクツアー	積雪下の野外体験活動としてスノーハイクを提案し、雪中で過ごす魅力を伝える予定であったが、暖気の影響で雪解けが進んでしまったため中止とした。	中止

(3) 自然体験活動に関する調査研究、資料の収集及び提供に関する業務  
具体的な事業実施報告は以下のとおり

事業名	実施状況	参加者数等
気づきのメッセージ	メッセージボードを設置し、施設で過ごす上での利用者の気づきや発見などの情報をシェアし交流促進を図ることのできる空間作りに努めた。	350人
調査・研究	モニタリング調査(400件)や利用者アンケート(通年)を実施し、社会のニーズを捉え、活用できるように分析を行った。モニタリングについては、夏季と冬季の2回実施した。(各200件)	モニタリング 調査 400件 アンケート 随時



#### 4 施設の利用等に関する業務（具体的な利用状況等）

- (1) 令和4年度施設利用状況  
資料1のとおり
- (2) 令和4年度利用料金収入状況  
資料2のとおり
- (3) 令和4年度利用料金収入算出表  
資料3のとおり

#### 5 管理業務に付随する業務について

ホームページについては、年齢や障がいの有無などに関わらず、すべての人が、ホームページで提供されている情報に問題なくアクセスでき、誰もが平等に利用することを可能とするとともに、日本工業規格 JIS X 8341-3 : 2016 適合レベル AA に準拠し、ウェブアクセシビリティを確保し運用を行った。

#### 6 札幌市内の企業等の活用について

第三者委託および備品・消耗品の購入、リーフレットの印刷業務など内容にあわせて、専門技術、資格及び設備等を有する札幌市内の企業を積極的に活用した。

#### 7 その他

- (1) インターネットを活用した web 予約システム テントハウスでの運用開始  
定山溪自然の村のホームページから貸室の予約ができる「web 予約システム」において、令和5年2月よりこれまでの「テントサイト」に加え「テントハウス」の予約範囲の拡充を行った。
- (2) 広報活動等
  - ①ソーシャルネットワークサービス（SNS）の活用  
ホームページ内においてソーシャルネットワークサービスを展開し、Facebook および instagram にて施設案内や事業案内を発信し、利用者のニーズや目的に合った情報提供を行った。
  - ②情報提供、広報掲載  
公的機関、民間報道機関等への情報提供を行い、雑誌や書籍の紙面・インターネットサイトなどに広報掲載を行った。
  - ③提供物品についての検討  
利用者の多様なニーズに対応するため、アンケートおよびモニタリング調査をもとに、提供物品についての検討を行い、物品改定および料金についての見直しを行った。

#### 8 令和4年度利用者アンケート集計

資料4 令和4年度利用者アンケート集計および資料5 令和4年度モニタリング集計のとおり

#### 9 収支決算

別紙2のとおり

# 令和4年度 施設利用状況

令和4年度(2022年度)

## (1)利用者別利用状況

札幌市定山溪自然の村

項目	利用者 親子	学 校					青少年 団体	指導者 団体	官庁内	その他	主催事業	計	
		幼稚園等	小学校 中学校	高校	大学 専門学校	盲聾養護 学校							
累 計	団体数	3,788	1	7	0	1	0	0	0	0	2	103	3,902
	実利用者数	13,141	20	103	0	24	0	0	0	0	44	514	13,846
	延利用者数	24,889	20	157	0	24	0	0	0	0	44	623	25,757

\* 累計＝令和4年4月からの累計

## (2) 宿泊別団体数 (3) 施設別利用人数

泊数	団体数		累 計
1泊	3,059	コテージ	5,677
2泊	134	テントハウス	4,292
3泊	15	テントサイト普通	2,964
4泊	2	テントサイト特別	913

## (4) 月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
宿 泊	団体数	274	309	268	351	510	148	0	316	247	321	307	329	3,380
	実利用者数	876	1,052	863	1,491	2,221	510	0	949	763	1,135	986	1,071	11,917
	延利用者数	1,705	2,177	1,715	2,911	4,515	1,033	0	1,896	1,528	2,266	1,962	2,120	23,828
日 帰 り	団体数	52	55	53	73	45	17	0	52	30	42	50	53	522
	実利用者数	154	187	161	301	178	53	0	173	92	299	166	165	1,929
見学・下見など		6	28	11	12	13	3	0	10	3	12	1	8	107

\* 見学・下見などの人数は利用人数に含まない

## (5) 利用形態別利用状況

	家族・小グループ				学校等団体				グループ数計			実利用者数計			延利用者数	下見・見学等
	グループ数		実利用者数		グループ数		実利用者数									
	宿泊	日帰	宿泊	日帰	宿泊	日帰	宿泊	日帰	宿泊	日帰	合計	宿泊	日帰	合計		
累 計	3,351	437	11,754	1,387	29	85	163	542	3,380	522	3,902	11,917	1,929	13,846	25,757	107

\* 延利用者数＝前日からの宿泊人数＋当日の利用人数

\* 見学・下見等の人数は利用者数には含まない

\* 累計＝令和4年4月からの累計

## (6) 施設別利用率

	コテージ(20)			テントハウス(10)			テントサイト普通(22)			テントサイト特別(4)			全体(56)	
	使用数 (家族等)	使用数 (団体)	使用率	使用数 (家族等)	使用数 (団体)	使用率	使用数 (家族等)	使用数 (団体)	使用率	使用数 (家族等)	使用数 (団体)	使用率	使用数	使用率
累 計	1,625	42	26.0%	1,259	21	39.9%	1,782	96	26.6%	630	0	49.1%	5,455	30.3%

\* 累計＝令和4年4月からの累計

## 令和4年度 利用料金収入状況

令和4年度(2022年度)  
札幌市定山溪自然の村

[現金収入-施設別]

	累 計		
	施設数	現金	
コテージ	1,667	6,850,020	
テントハウス	1,280	4,395,920	
テントサイト	普通	1,878	801,540
	特別	630	280,040
=令和4年4月から	5,455	12,327,520	

[現金収入-利用形態別]

	宿 泊		日 帰 り		延 長		合 計	
	施設数	現金	施設数	現金	施設数	現金	施設数	現金
累 計	4,714	11,901,380	741	421,210		4,930	5,455	12,327,520

[後納分]

	宿 泊	日 帰 り	延 長	累 計
累 計	15,980	4,050	0	20,030

[取消料]

	宿 泊	日 帰 り	延 長	累 計
累 計	278,100	15,410		293,510

\* 前年度取消料未収分5,900円を含む

[施設利用料金総合計]

	宿 泊	日 帰 り	延 長	累 計
累 計	12,195,460	440,670	4,930	12,641,060

[減免額 \*参考]

	宿 泊	日 帰 り	延 長	累 計
累 計	400,440	34,250	680	435,370

# 令和4年度 利用料金収入算出表

令和4年度(2022年度)  
札幌市定山溪自然の村

		コテージ		テントハウス		テントサイト				合 計		現金収入	延長収入額	後納額	取消料	合 計	減免額
		宿泊 (室数)	日帰り (室数)	宿泊 (室数)	日帰り (室数)	普通		特別		施設数	施設 使用料						
						宿泊 (室数)	日帰り (室数)	宿泊 (室数)	日帰り (室数)								
4月	一般利用	98	14	89	9	146	36	48	16	456	917,710	917,100	610	0	5,900	923,610	30,540
	団体利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	98	14	89	9	146	36	48	16	456	917,710	917,100	610	0	5,900	923,610	30,540
5月	一般利用	102	15	92	10	172	43	74	14	522	980,430	979,130	1,300	0	21,010	1,001,440	28,760
	団体利用	0	0	0	0	0	5	0	0	5	850	850	0	0	0	850	0
	計	102	15	92	10	172	48	74	14	527	981,280	979,980	1,300	0	21,010	1,002,290	28,760
6月	一般利用	105	11	70	9	127	47	52	14	435	873,010	873,010	0	0	43,440	916,450	22,660
	団体利用	0	0	0	4	20	0	0	0	24	15,200	15,200	0	0	0	15,200	0
	計	105	11	70	13	147	47	52	14	459	888,210	888,210	0	0	43,440	931,650	22,660
7月	一般利用	159	18	108	5	177	27	76	12	582	1,293,870	1,293,790	80	0	47,700	1,341,570	88,070
	団体利用	8	4	0	0	0	31	0	0	43	4,760	4,760	0	0	0	4,760	0
	計	167	22	108	5	177	58	76	12	625	1,298,630	1,298,550	80	0	47,700	1,346,330	88,070
8月	一般利用	275	19	165	7	212	25	88	8	799	2,090,210	2,090,210	0	0	24,270	2,114,480	69,250
	団体利用	11	0	0	3	0	1	0	0	15	27,420	11,440	0	15,980	0	27,420	0
	計	286	19	165	10	212	26	88	8	814	2,117,630	2,101,650	0	15,980	24,270	2,141,900	69,250
9月	一般利用	65	4	38	4	74	12	28	4	229	508,060	507,540	520	0	6,370	514,430	11,480
	団体利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	65	4	38	4	74	12	28	4	229	508,060	507,540	520	0	6,370	514,430	11,480
10月	一般利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	団体利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	一般利用	141	10	105	13	123	41	42	6	481	1,038,310	1,037,750	560	0	8,500	1,046,810	56,900
	団体利用	5	0	0	9	0	0	0	0	14	23,500	23,500	0	0	0	23,500	11,700
	計	146	10	105	22	123	41	42	6	495	1,061,810	1,061,250	560	0	8,500	1,070,310	68,600
12月	一般利用	116	4	81	6	100	18	36	2	363	854,070	853,860	210	0	44,240	898,310	29,040
	団体利用	0	0	0	5	0	5	0	0	10	7,350	7,350	0	0	0	7,350	0
	計	116	4	81	11	100	23	36	2	373	861,420	861,210	210	0	44,240	905,660	29,040
1月	一般利用	164	15	134	9	100	23	32	2	479	1,307,980	1,307,960	20	0	22,200	1,330,180	49,290
	団体利用	5	0	0	0	8	9	0	0	22	29,030	28,180	0	850	0	29,030	0
	計	169	15	134	9	108	32	32	2	501	1,337,010	1,336,140	20	850	22,200	1,359,210	49,290
2月	一般利用	123	13	138	12	107	21	32	10	456	1,120,080	1,118,500	1,580	0	12,780	1,132,860	8,660
	団体利用	7	0	0	0	0	7	0	0	14	32,900	32,900	0	0	0	32,900	0
	計	130	13	138	12	107	28	32	10	470	1,152,980	1,151,400	1,580	0	12,780	1,165,760	8,660
3月	一般利用	143	11	142	13	129	22	22	12	494	1,222,810	1,219,560	50	3,200	57,100	1,279,910	29,020
	団体利用	0	2	0	0	0	10	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0
	計	143	13	142	13	129	32	22	12	506	1,222,810	1,219,560	50	3,200	57,100	1,279,910	29,020
合 計		1,527	140	1,162	118	1,495	383	530	100	5,455	12,347,550	12,322,590	4,930	20,030	293,510	12,641,060	435,370

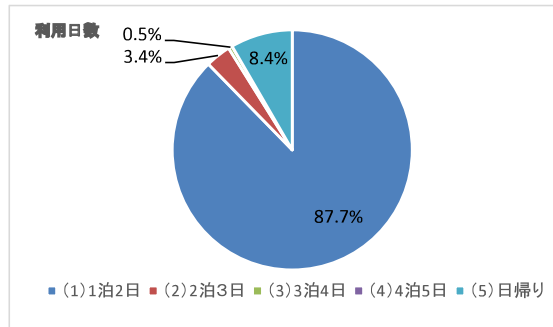
# 札幌市定山溪自然の村 アンケート(宿泊利用者用)集計

アンケート実施期間:令和4年4月1日～令和5年3月31日

利用件数(サンプル数):	3,388 件
アンケート回収数 :	1,876 件
アンケート回収率 :	55%

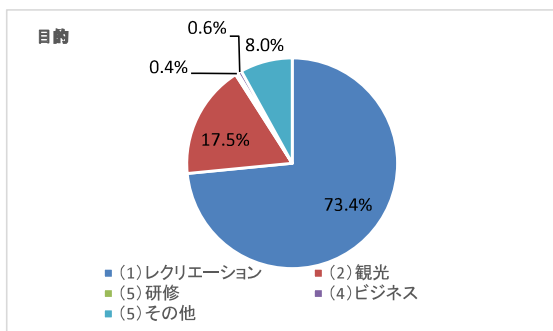
## ● ご利用日

利用日数	件数	割合
(1)1泊2日	1,637	87.7%
(2)2泊3日	64	3.4%
(3)3泊4日	10	0.5%
(4)4泊5日	0	0.0%
(5)日帰り	156	8.4%
総計	1,867	



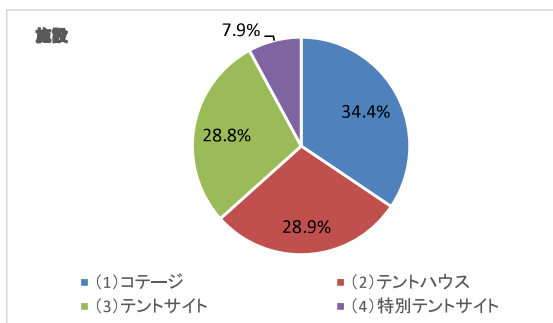
## ● ご利用目的

目的	件数	割合
(1)レクリエーション	1,289	73.4%
(2)観光	308	17.5%
(5)研修	7	0.4%
(4)ビジネス	10	0.6%
(5)その他	141	8.0%
総計	1,755	



## ● 利用施設

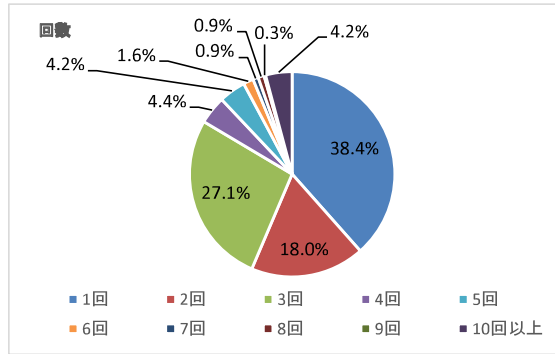
Q-1	件数	割合
(1)コテージ	642	34.4%
(2)テントハウス	540	28.9%
(3)テントサイト	537	28.8%
(4)特別テントサイト	147	7.9%
総計	1,866	





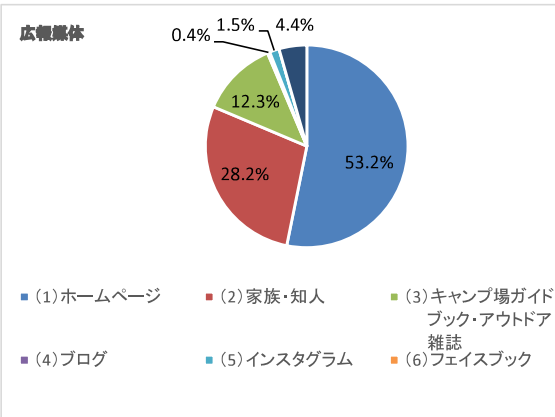
● ご利用回数

利用回数	件数	割合
1回	717	38.4%
2回	335	18.0%
3回	506	27.1%
4回	82	4.4%
5回	79	4.2%
6回	30	1.6%
7回	16	0.9%
8回	17	0.9%
9回	5	0.3%
10回以上	78	4.2%
総計	1,865	



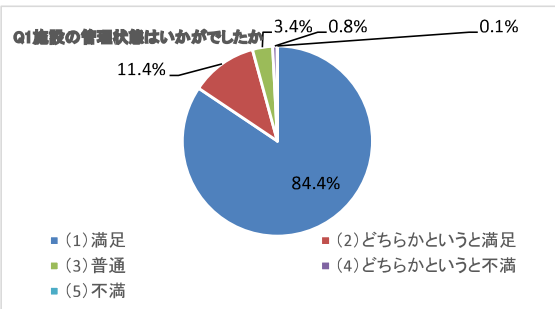
● 自然の村のことは何によって知りましたか  
※ 前項にて「1」を回答したもののみ

広報媒体	件数	割合
(1) ホームページ	385	53.2%
(2) 家族・知人	204	28.2%
(3) キャンプ場ガイドブック・アウトドア雑誌	89	12.3%
(4) ブログ	3	0.4%
(5) インスタグラム	11	1.5%
(6) フェイスブック	0	0.0%
(7) その他	32	4.4%
総計	724	



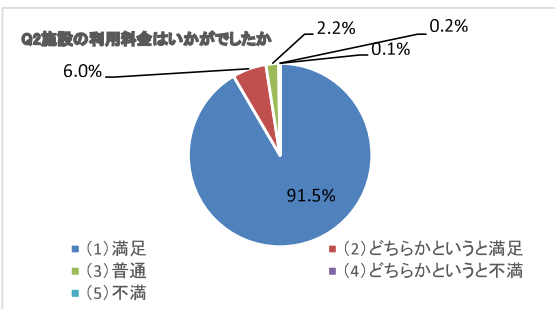
Q-1 施設の「管理状態」はいかがでしたか

Q-1	件数	割合
(1) 満足	1,554	84.4%
(2) どちらかという満足	209	11.4%
(3) 普通	63	3.4%
(4) どちらかという不満	14	0.8%
(5) 不満	1	0.1%
総計	1,841	



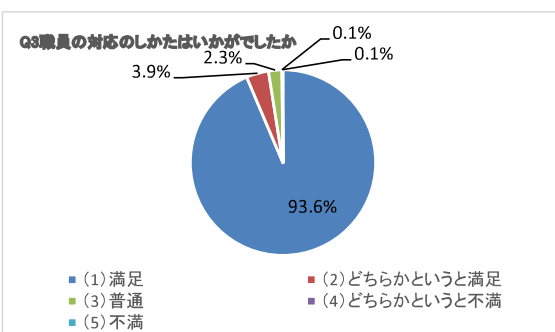
Q-2 施設の料金はいかがでしたか。

Q-2	件数	割合
(1) 満足	1,687	91.5%
(2) どちらかという満足	110	6.0%
(3) 普通	41	2.2%
(4) どちらかという不満	4	0.2%
(5) 不満	1	0.1%
総計	1,843	



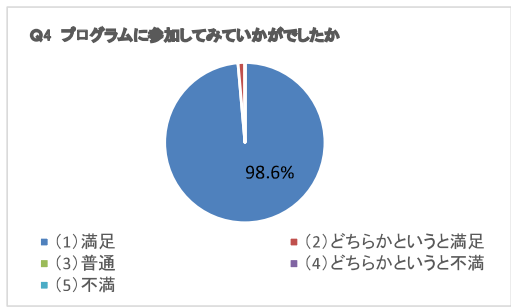
Q-3 職員の対応のしかたはいかがでしたか

Q-3	件数	割合
(1) 満足	1,574	93.6%
(2) どちらかという満足	65	3.9%
(3) 普通	39	2.3%
(4) どちらかという不満	1	0.1%
(5) 不満	2	0.1%
総計	1,681	



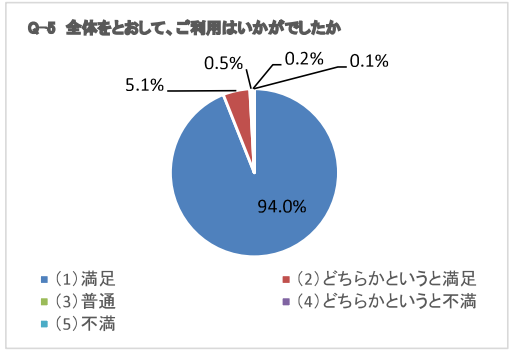
**Q-4 「プログラム」に参加してみたいかがでしたか**

Q-4	件数	割合
(1) 満足	73	98.6%
(2) どちらかという満足	1	1.4%
(3) 普通	0	0.0%
(4) どちらかという不満	0	0.0%
(5) 不満	0	0.0%
総計	74	



**Q-5 全体をとおして、ご利用はいかがでしたか**

Q-5	件数	割合
(1) 満足	1,388	94.0%
(2) どちらかという満足	76	5.1%
(3) 普通	8	0.5%
(4) どちらかという不満	3	0.2%
(5) 不満	2	0.1%
総計	1,477	



**Q-6 定山溪自然の村では各種活動プログラムを用意しています。今回あなたが参加したものはどれですか。また、実際に参加してみたいかがでしたか。**

◎ 森の観察会

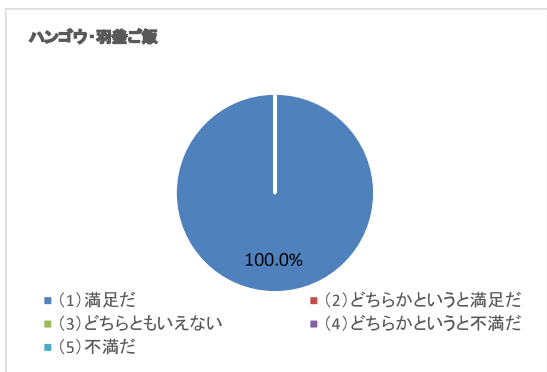
森の観察会	件数	割合
(1) 満足だ	5	100.0%
(2) どちらかという満足だ	0	0.0%
(3) どちらともいえない	0	0.0%
(4) どちらかという不満だ	0	0.0%
(5) 不満だ	0	0.0%
総計	5	

◎ 森の工作会

森の工作会	件数	割合
(1) 満足だ	2	100.0%
(2) どちらかという満足だ	0	0.0%
(3) どちらともいえない	0	0.0%
(4) どちらかという不満だ	0	0.0%
(5) 不満だ	0	0.0%
総計	2	

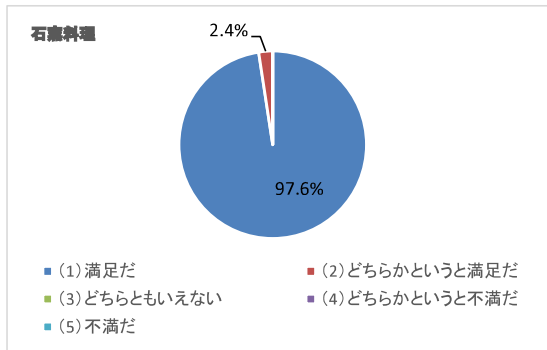
◎ ハンゴウ・羽釜ご飯体験

ハンゴウ・羽釜ご飯体験	件数	割合
(1) 満足だ	7	100.0%
(2) どちらかという満足だ	0	0.0%
(3) どちらともいえない	0	0.0%
(4) どちらかという不満だ	0	0.0%
(5) 不満だ	0	0.0%
総計	7	



◎ 石窯料理体験

石窯料理体験	件数	割合
(1) 満足だ	41	97.6%
(2) どちらかという満足だ	1	2.4%
(3) どちらともいえない	0	0.0%
(4) どちらかという不満だ	0	0.0%
(5) 不満だ	0	0.0%
総計	42	



◎ ドラム缶風呂

ドラム缶風呂	件数	割合
(1) 満足だ		
(2) どちらかという満足だ		
(3) どちらともいえない		
(4) どちらかという不満だ		
(5) 不満だ		
総計		

※ 新型コロナウイルス拡大防止対策のため実施していない。

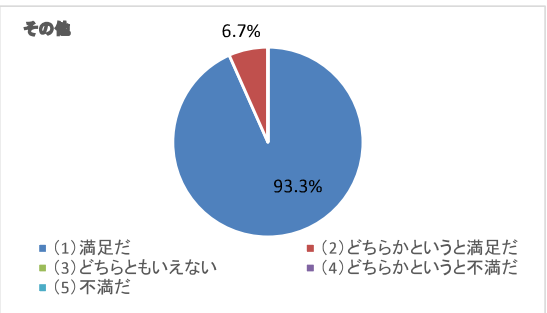
◎ 夜プログラム

夜プログラム	件数	割合
(1) 満足だ		
(2) どちらかという満足だ		
(3) どちらともいえない		
(4) どちらかという不満だ		
(5) 不満だ		
総計		

※ 新型コロナウイルス拡大防止対策のため実施していない。

◎ その他

その他	件数	割合
(1) 満足だ	14	93.3%
(2) どちらかという満足だ	1	6.7%
(3) どちらともいえない	0	0.0%
(4) どちらかという不満だ	0	0.0%
(5) 不満だ	0	0.0%
総計	15	



※ 「無回答」については件数に含んでいません。

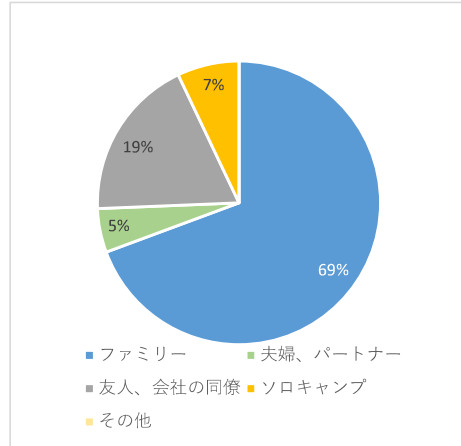
## 令和4年度札幌市定山溪自然の村モニタリング調査（夏期）

モニタリング実施期間：令和4年7月26日～令和4年9月10日  
 配布数200件 回収数200件 回収率100%

※ 単数回答は無回答を除いた有効回答数Nをもとに円グラフにて示す。  
 ※ 複数回答は全体が100%を超えるため、横棒グラフにて示す。

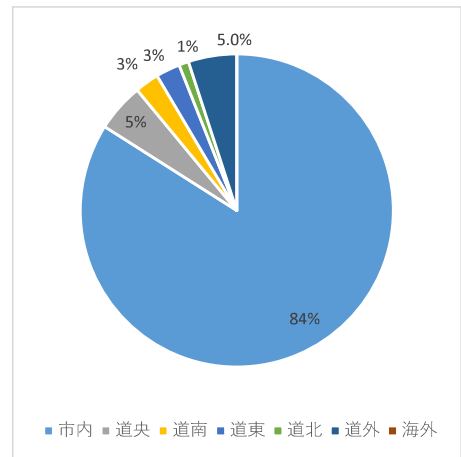
### 1 キャンプの同行者 N=200：単数回答（件）

	全体	199
ファミリー	138	69%
夫婦、パートナー	10	5%
友人、会社の同僚	37	19%
ソロキャンプ	14	7%
その他	0	0%



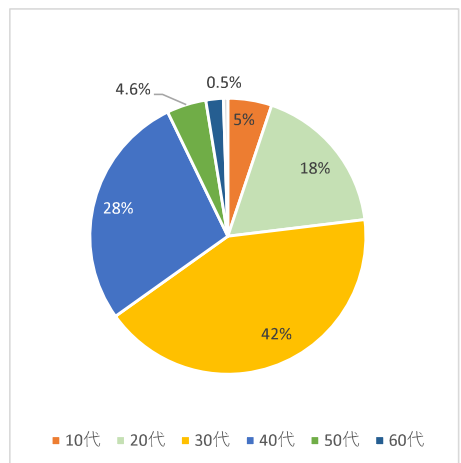
### 2 利用者の居住地 N=200：単数回答（件）

	全体	200
市内	168	84%
道央	10	5%
道南	5	3%
道東	5	3%
道北	2	1%
道外	10	5.0%
海外	0	0.0%



### 3 活動中心者の年齢 N=200：単数回答（件）

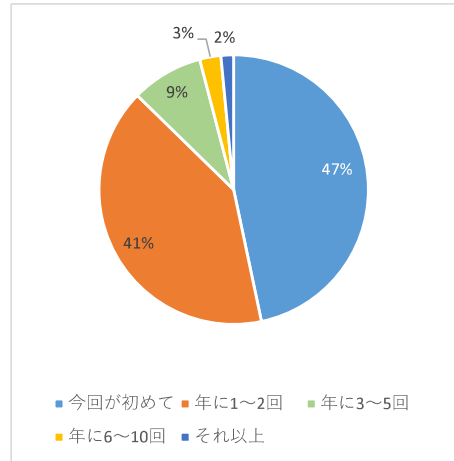
	全体	195
10代	10	5%
20代	35	18%
30代	82	42%
40代	54	28%
50代	9	4.6%
60代	4	2.1%
70代以上	1	0.5%



#### 4 自然の村の利用頻度

N=200：複数回答（件）

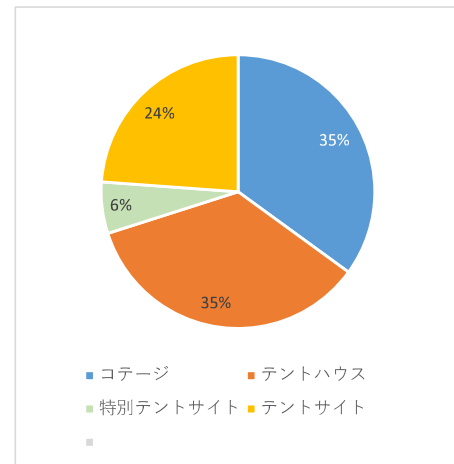
	全体	197
今回が初めて	92	47%
年に1~2回	80	41%
年に3~5回	17	9%
年に6~10回	5	3%
それ以上	3	2%



#### 5 今回利用した施設

N=200：単数回答（件）

	全体	197
コテージ	69	35%
テントハウス	69	35%
特別テントサイト	12	6%
テントサイト	47	24%

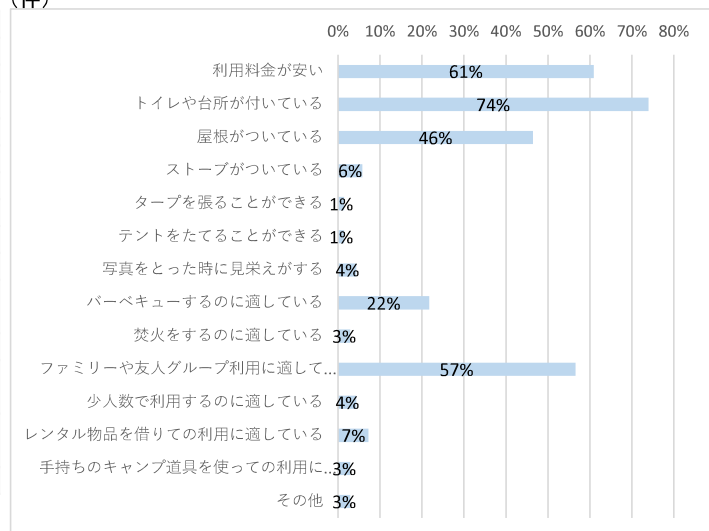


#### 6 今回の施設を選んだ理由（上位3つ）

##### ①コテージ利用者

N=69：複数回答（件）

	全体	69
利用料金が安い	42	61%
トイレや台所が付いている	51	74%
屋根が付いている	32	46%
ストーブが付いている	4	6%
タープを張ることができる	1	1%
テントをたてることができる	1	1%
写真を撮った時に見栄えがする	3	4%
バーベキューするのに適している	15	22%
焚火をするのに適している	2	3%
ファミリーや友人グループ利用に適している	39	57%
少人数で利用するのに適している	3	4%
レンタル物品を借りての利用に適している	5	7%
手持ちのキャンプ道具を使っでの利用に適している	2	3%
その他	2	3%

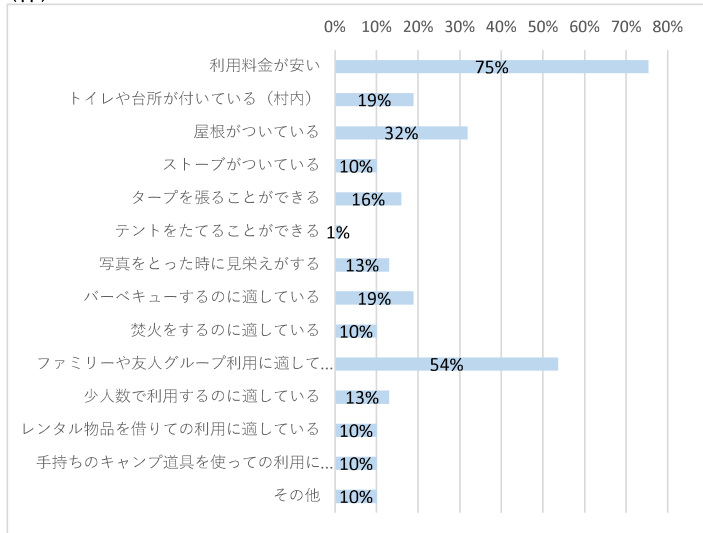


【その他回答】

## ②テントハウス利用者

N=69：複数回答（件）

	全体	69
利用料金が安い	52	75%
トイレや台所が付いている（村内）	13	19%
屋根がついている	22	32%
ストーブがついている	7	10%
タープを張ることができる	11	16%
テントをたてることができる	1	1%
写真をとった時に見栄えがする	9	13%
バーベキューするのに適している	13	19%
焚火をするのに適している	7	10%
ファミリーや友人グループ利用に適している	37	54%
少人数で利用するのに適している	9	13%
レンタル物品を借りての利用に適している	7	10%
手持ちのキャンプ道具を使っての利用に適している	7	10%
その他	7	10%



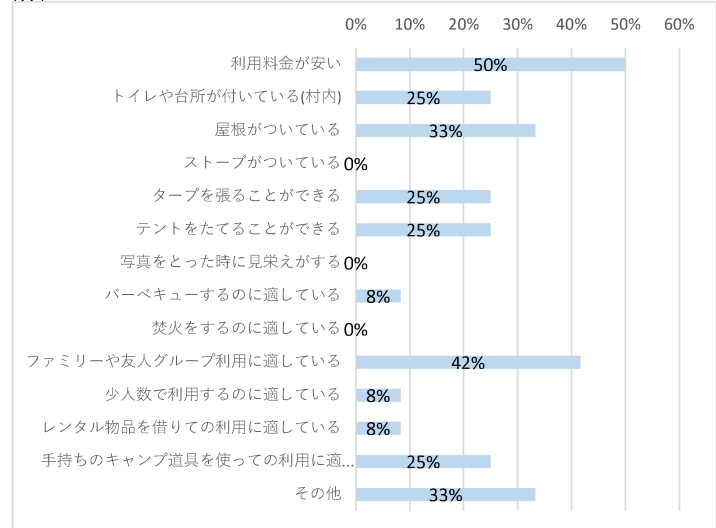
【その他回答】

雨が降っている際に利用がしやすい

## ③特別テントサイト利用者

N=12：複数回答（件）

	全体	12
利用料金が安い	6	50%
トイレや台所が付いている（村内）	3	25%
屋根がついている	4	33%
ストーブがついている	0	0%
タープを張ることができる	3	25%
テントをたてることができる	3	25%
写真をとった時に見栄えがする	0	0%
バーベキューするのに適している	1	8%
焚火をするのに適している	0	0%
ファミリーや友人グループ利用に適して	5	42%
少人数で利用するのに適している	1	8%
レンタル物品を借りての利用に適してい	1	8%
手持ちのキャンプ道具を使っての利用に	3	25%
適している	3	25%
その他	4	33%



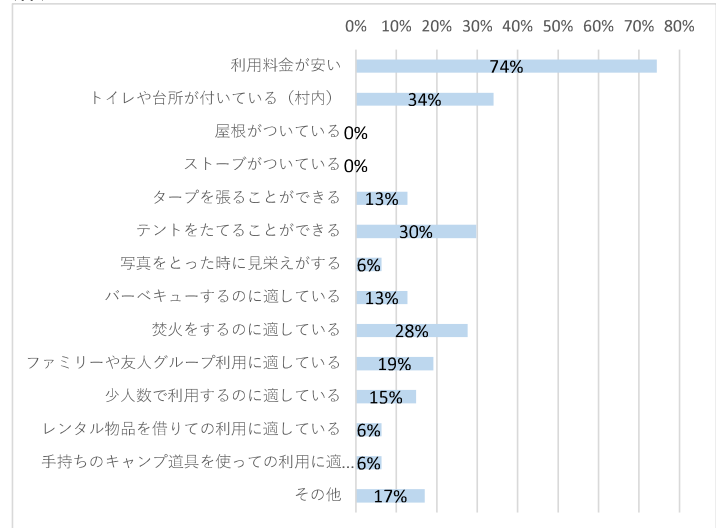
【その他回答】

テントを立てなくていいから

## ④テントサイト利用者

N=47：複数回答（件）

	全体	47
利用料金が安い	35	74%
トイレや台所が付いている（村内）	16	34%
屋根がついている	0	0%
ストーブがついている	0	0%
タープを張ることができる	6	13%
テントをたてることができる	14	30%
写真をとった時に見栄えがする	3	6%
バーベキューするのに適している	6	13%
焚火をするのに適している	13	28%
ファミリーや友人グループ利用に適して	9	19%
いる	9	19%
少人数で利用するのに適している	7	15%
レンタル物品を借りての利用に適してい	3	6%
る	3	6%
手持ちのキャンプ道具を使っての利用に	3	6%
適している	3	6%
その他	8	17%



【その他回答】

自然に囲まれていて落ち着く

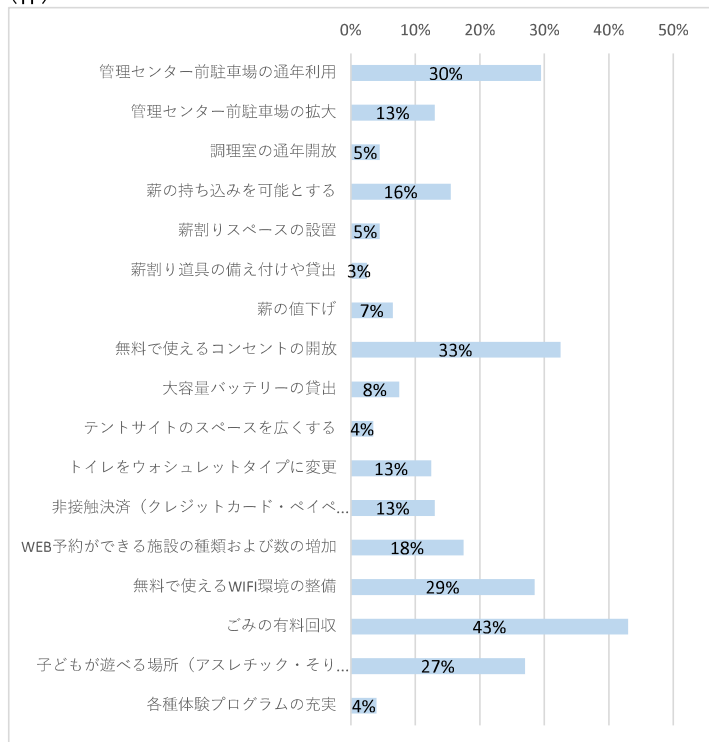
## 7 定山溪自然の村に望むサービス（上位3つ）

N=200：複数回答（件）

	全体	200
管理センター前駐車場の通年利用	59	30%
管理センター前駐車場の拡大	26	13%
調理室の通年開放	9	5%
薪の持ち込みを可能とする	31	16%
薪割りスペースの設置	9	5%
薪割り道具の備え付けや貸出	5	3%
薪の値下げ	13	7%
無料で使えるコンセントの開放	65	33%
大容量バッテリーの貸出	15	8%
テントサイトのスペースを広くする	7	4%
トイレをウォシュレットタイプに変更	25	13%
非接触決済（クレジットカード・ペイペイ・IDなど）の導入	26	13%
WEB予約ができる施設の種類および数の増加	35	18%
無料で使えるWIFI環境の整備	57	29%
ごみの有料回収	86	43%
子どもが遊べる場所（アスレチック・そり坂等）の充実	54	27%
各種体験プログラムの充実	8	4%
その他	10	5%

### 【その他回答】

シャワー室が使いたい  
アルコール販売  
花火ができるスペース  
コテージトイレの手洗い設置  
洋式トイレを増やして欲しい  
出入りの時間を自由に。仕事帰りでも利用できるように遅い時間でのチェックイン可能に。



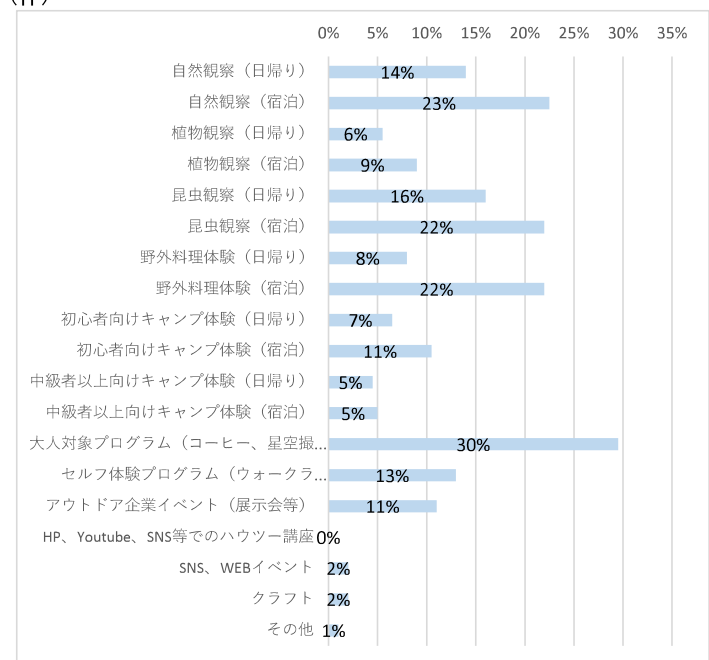
## 8 今後、定山溪自然の村で実施して欲しいプログラム（上位3つ）

N=200：複数回答（件）

	全体	200
自然観察（日帰り）	28	14%
自然観察（宿泊）	45	23%
植物観察（日帰り）	11	6%
植物観察（宿泊）	18	9%
昆虫観察（日帰り）	32	16%
昆虫観察（宿泊）	44	22%
野外料理体験（日帰り）	16	8%
野外料理体験（宿泊）	44	22%
初心者向けキャンプ体験（日帰り）	13	7%
初心者向けキャンプ体験（宿泊）	21	11%
中級者以上向けキャンプ体験（日帰り）	9	5%
中級者以上向けキャンプ体験（宿泊）	10	5%
大人対象プログラム（コーヒー、星空撮影等）	59	30%
セルフ体験プログラム（ウォークラリー、スノーシュー等）	26	13%
アウトドア企業イベント（展示会等）	22	11%
HP、Youtube、SNS等でのハウツー講座	0	0%
SNS、WEBイベント	4	2%
クラフト	4	2%
その他	2	1%

### 【その他回答】

親子での星空撮影など  
子どもに自然の中で学んでほしいから  
キャンプが好き  
自然体験  
虫探し  
近郊なので



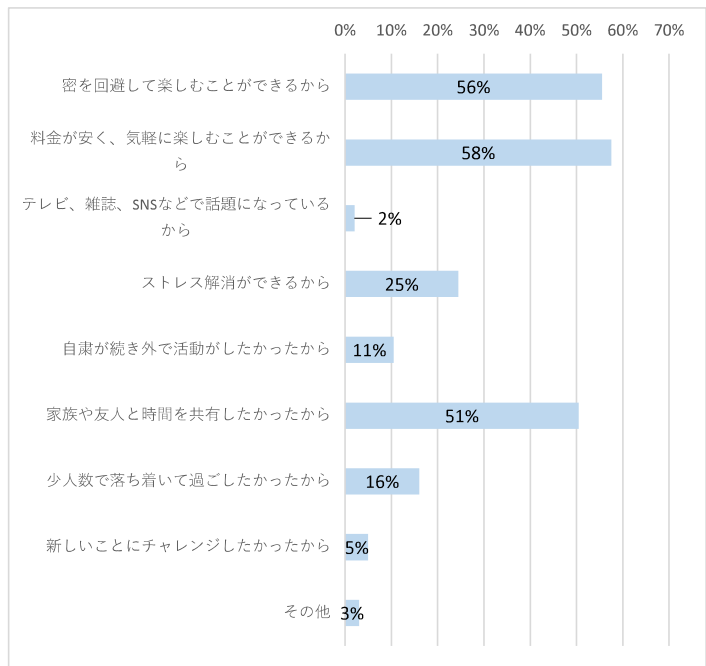
### 9 コロナ禍のレジャーの中で、キャンプを選んだ理由（上位3つ）

N=200：複数回答（件）

	全体	200
密を回避して楽しむことができるから	111	56%
料金が安く、気軽に楽しむことができるから	115	58%
テレビ、雑誌、SNSなどで話題になっているから	4	2%
ストレス解消ができるから	49	25%
自粛が続き外で活動がしたかったから	21	11%
家族や友人と時間を共有したかったから	101	51%
少人数で落ち着いて過ごしたかったから	32	16%
新しいことにチャレンジしたかったから	10	5%
その他	6	3%

#### 【その他回答】

何もしなくてもよい

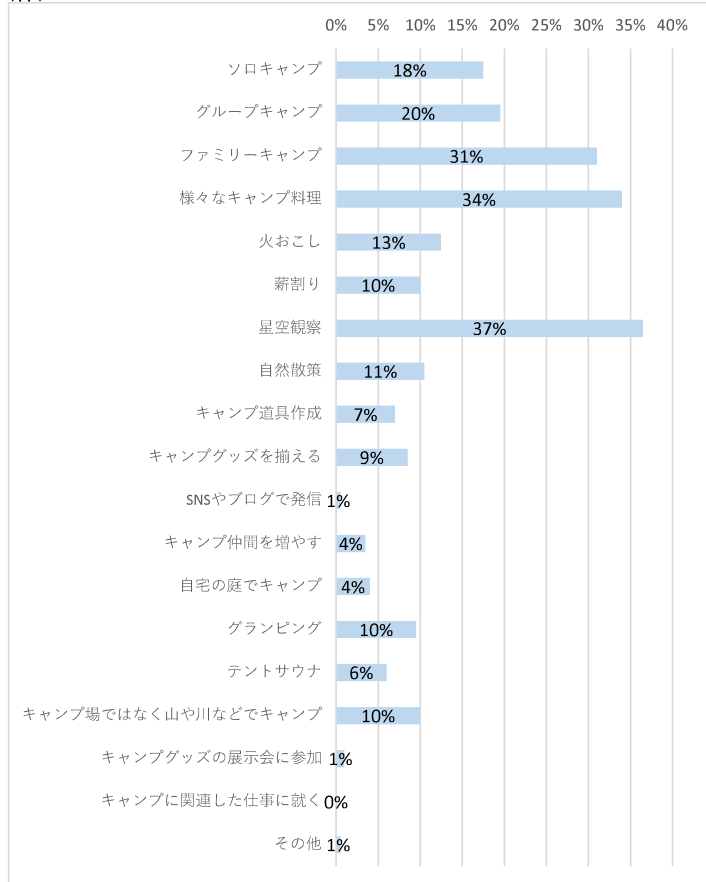


### 10 今後キャンプを続けていく中でやってみたい事（上位3つ）

N=200：複数回答（件）

	全体	200
ソロキャンプ	35	18%
グループキャンプ	39	20%
ファミリーキャンプ	62	31%
様々なキャンプ料理	68	34%
火おこし	25	13%
薪割り	20	10%
星空観察	73	37%
自然散策	21	11%
キャンプ道具作成	14	7%
キャンプグッズを揃える	17	9%
SNSやブログで発信	1	1%
キャンプ仲間を増やす	7	4%
自宅の庭でキャンプ	8	4%
グランピング	19	10%
テントサウナ	12	6%
キャンプ場ではなく山や川などでキャンプ	20	10%
キャンプグッズの展示会に参加	2	1%
キャンプに関連した仕事に就く	0	0%
その他	1	1%

#### 【その他回答】



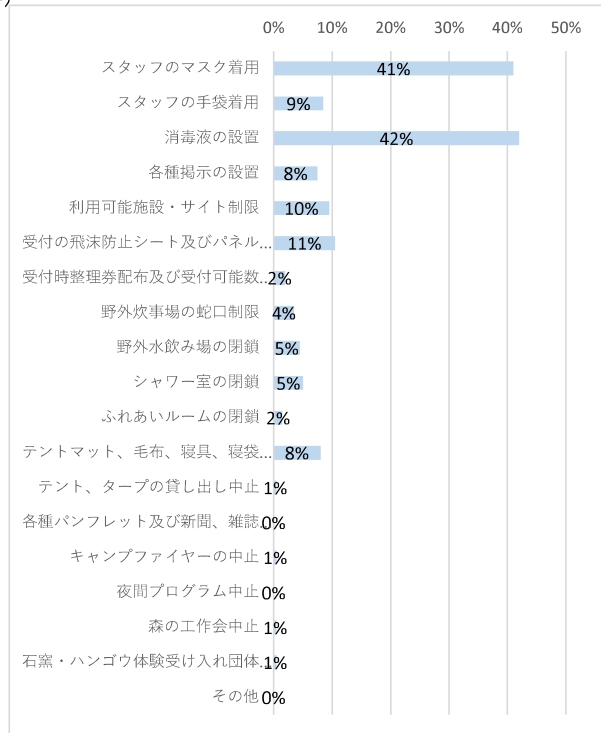


## 11 新型コロナウイルス拡大防止策について

### 【継続した方が良いと思う対策】

N=200：複数回答（件）

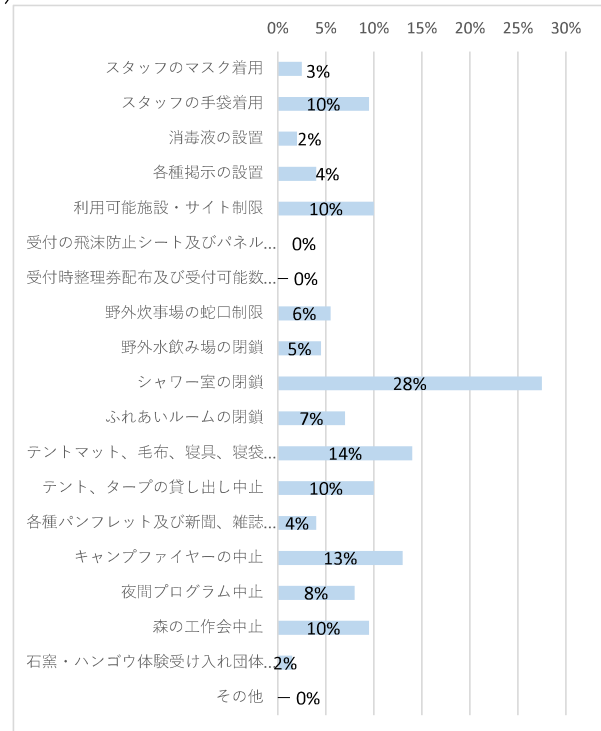
	全体	200
スタッフのマスク着用	82	41%
スタッフの手袋着用	17	9%
消毒液の設置	84	42%
各種掲示の設置	15	8%
利用可能施設・サイト制限	19	10%
受付時飛沫防止シート及びパネル設置	21	11%
受付時整理券配布及び受付可能数の制限	4	2%
野外炊事場の蛇口制限	7	4%
野外水飲み場の閉鎖	9	5%
シャワー室の閉鎖	10	5%
ふれあいルームの閉鎖	3	2%
テントマット、毛布、寝具、寝袋の貸し出し中止	16	8%
テント、タープの貸し出し中止	1	1%
各種パンフレット及び新聞、雑誌の閲覧中止	0	0%
キャンプファイヤーの中止	1	1%
夜間プログラム中止	0	0%
森の工作会中止	1	1%
石窯・ハンゴウ体験受け入れ団体数制限	1	1%
その他	0	0%



### 【止めても良いと思う対策】

N=200：複数回答（件）

	全体	200
スタッフのマスク着用	5	3%
スタッフの手袋着用	19	10%
消毒液の設置	4	2%
各種掲示の設置	8	4%
利用可能施設・サイト制限	20	10%
受付時飛沫防止シート及びパネル設置	0	0%
受付時整理券配布及び受付可能数の制限	0	0%
野外炊事場の蛇口制限	11	6%
野外水飲み場の閉鎖	9	5%
シャワー室の閉鎖	55	28%
ふれあいルームの閉鎖	14	7%
テントマット、毛布、寝具、寝袋の貸し出し中止	28	14%
テント、タープの貸し出し中止	20	10%
各種パンフレット及び新聞、雑誌の閲覧中止	8	4%
キャンプファイヤーの中止	26	13%
夜間プログラム中止	16	8%
森の工作会中止	19	10%
石窯・ハンゴウ体験受け入れ団体数制限	3	2%
その他	0	0%



### 【その他回答】

キャンプファイヤーの再開の希望

早く子ども向けプログラム（夜間プログラム、工作会）再開して欲しい欲しい。シャワー使えるようになれば。

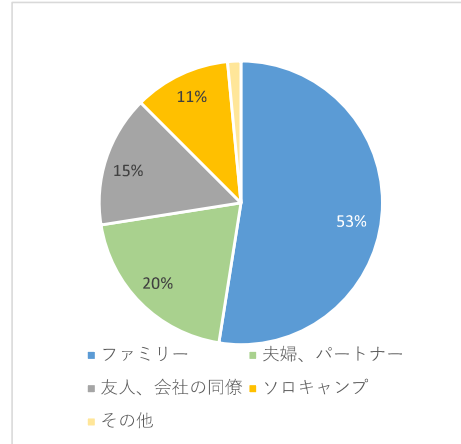
## 令和4年度札幌市定山溪自然の村モニタリング調査（冬期）

モニタリング実施期間：令和4年12月24日～令和5年1月23日  
配布数200件 回収数200件 回収率100%

※ 単数回答は無回答を除いた有効回答数Nをもとに円グラフにて示す。  
※ 複数回答は全体が100%を超えるため、横棒グラフにて示す。

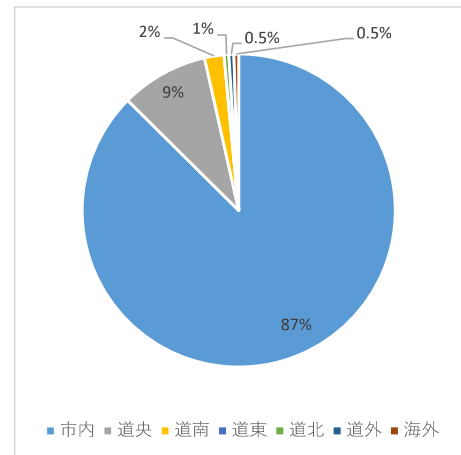
### 1 キャンプの同行者 N=200：単数回答（件）

	全体	200
ファミリー	105	53%
夫婦、パートナー	40	20%
友人、会社の同僚	30	15%
ソロキャンプ	22	11%
その他	3	2%



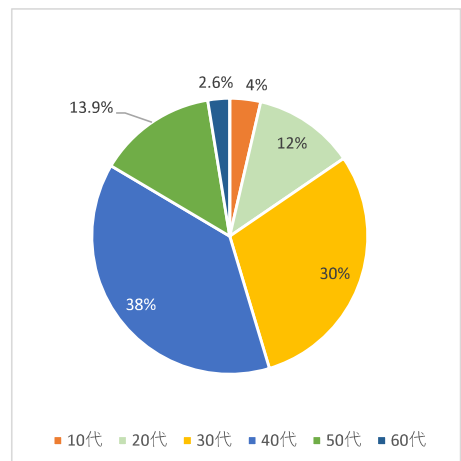
### 2 利用者の居住地 N=199：単数回答（件）

	全体	199
市内	174	87%
道央	18	9%
道南	4	2%
道東	0	0%
道北	1	1%
道外	1	0.5%
海外	1	0.5%



### 3 活動中心者の年齢 N=194：単数回答（件）

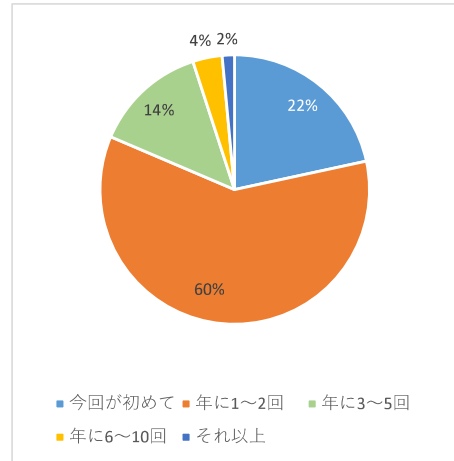
	全体	194
10代	7	4%
20代	23	12%
30代	58	30%
40代	74	38%
50代	27	13.9%
60代	5	2.6%
70代以上	0	0.0%



#### 4 自然の村の利用頻度

N=199：複数回答（件）

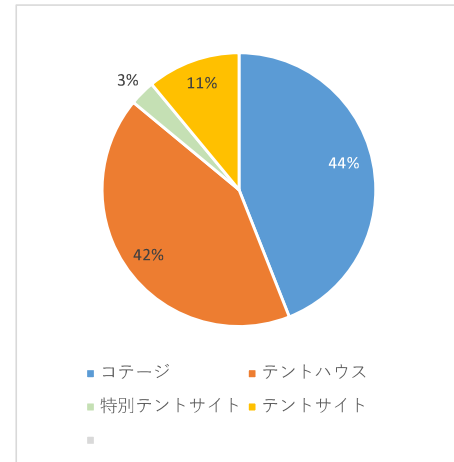
	全体	199
今回が初めて	43	22%
年に1~2回	119	60%
年に3~5回	27	14%
年に6~10回	7	4%
それ以上	3	2%



#### 5 今回利用した施設

N=200：単数回答（件）

	全体	200
コテージ	88	44%
テントハウス	84	42%
特別テントサイト	6	3%
テントサイト	22	11%

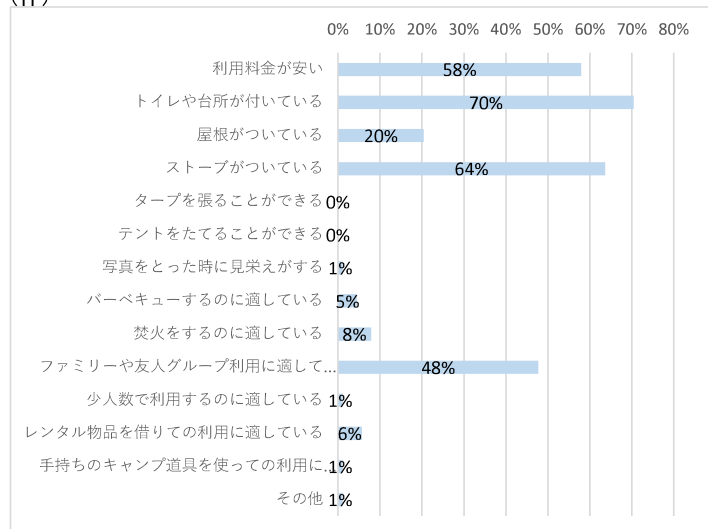


#### 6 今回の施設を選んだ理由（上位3つ）

##### ①コテージ利用者

N=88：複数回答（件）

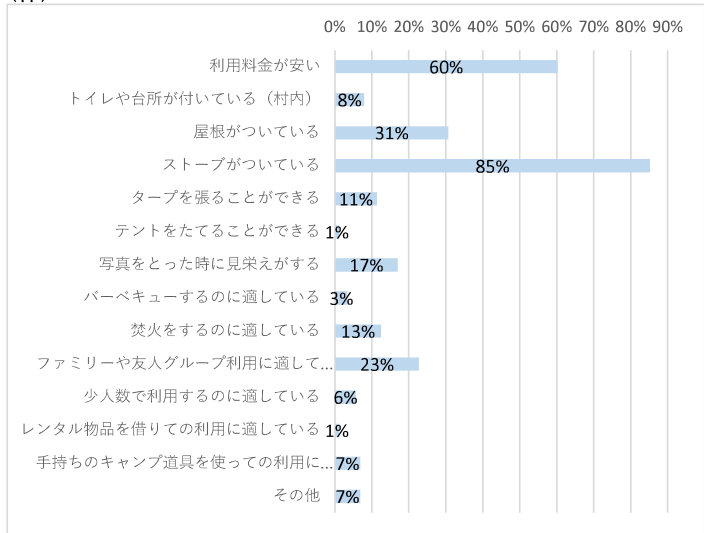
	全体	88
利用料金が安い	51	58%
トイレや台所が付いている	62	70%
屋根がついている	18	20%
ストーブがついている	56	64%
タープを張ることができる	0	0%
テントをたてることができる	0	0%
写真を撮った時に見栄えがする	1	1%
バーベキューするのに適している	4	5%
焚火をするのに適している	7	8%
ファミリーや友人グループ利用に適している	42	48%
少人数で利用するのに適している	1	1%
レンタル物品を借りての利用に適している	5	6%
手持ちのキャンプ道具を使っでの利用に適している	1	1%
その他	1	1%



## ②テントハウス利用者

N=84：複数回答（件）

	全体	84
利用料金が安い	53	60%
トイレや台所が付いている（村内）	7	8%
屋根がついている	27	31%
ストーブがついている	75	85%
タープを張ることができる	10	11%
テントをたてることができる	1	1%
写真をとった時に見栄えがする	15	17%
バーベキューするのに適している	3	3%
焚火するのに適している	11	13%
ファミリーや友人グループ利用に適している	20	23%
少人数で利用するのに適している	5	6%
レンタル物品を借りての利用に適している	1	1%
手持ちのキャンプ道具を使っての利用に適している	6	7%
その他	6	7%



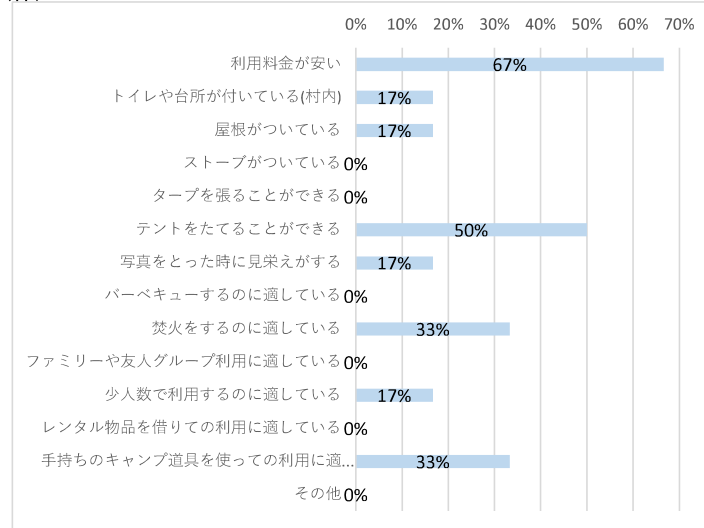
【その他回答】

テントをたてなくてよいから。

## ③特別テントサイト利用者

N=6：複数回答（件）

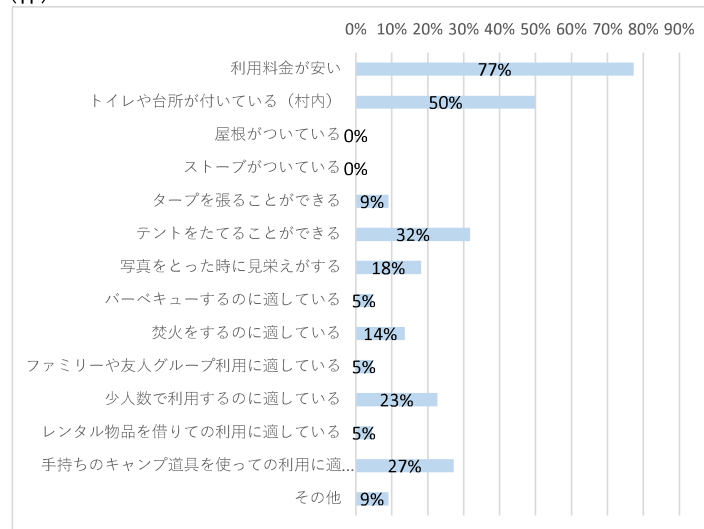
	全体	6
利用料金が安い	4	67%
トイレや台所が付いている（村内）	1	17%
屋根がついている	1	17%
ストーブがついている	0	0%
タープを張ることができる	0	0%
テントをたてることができる	3	50%
写真をとった時に見栄えがする	1	17%
バーベキューするのに適している	0	0%
焚火するのに適している	2	33%
ファミリーや友人グループ利用に適して	0	0%
少人数で利用するのに適している	1	17%
レンタル物品を借りての利用に適してい	0	0%
手持ちのキャンプ道具を使っての利用に	2	33%
適している	0	0%
その他	0	0%



## ④テントサイト利用者

N=22：複数回答（件）

	全体	22
利用料金が安い	17	77%
トイレや台所が付いている（村内）	11	50%
屋根がついている	0	0%
ストーブがついている	0	0%
タープを張ることができる	2	9%
テントをたてることができる	7	32%
写真をとった時に見栄えがする	4	18%
バーベキューするのに適している	1	5%
焚火するのに適している	3	14%
ファミリーや友人グループ利用に適して	1	5%
少人数で利用するのに適している	5	23%
レンタル物品を借りての利用に適してい	1	5%
手持ちのキャンプ道具を使っての利用に	6	27%
適している	2	9%
その他	2	9%



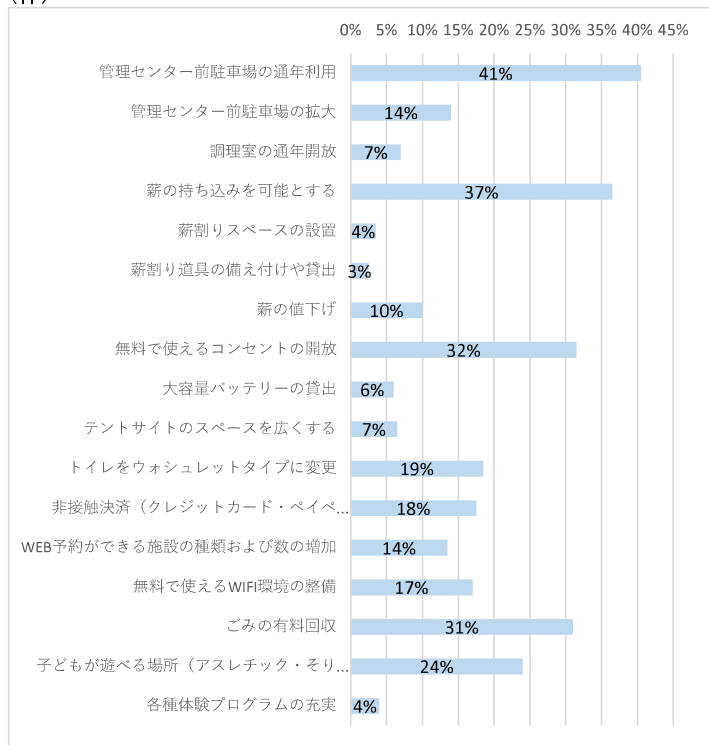
## 7 定山溪自然の村に望むサービス（上位3つ）

N=200：複数回答（件）

	全体	200
管理センター前駐車場の通年利用	81	41%
管理センター前駐車場の拡大	28	14%
調理室の通年開放	14	7%
薪の持ち込みを可能とする	73	37%
薪割りスペースの設置	7	4%
薪割り道具の備え付けや貸出	5	3%
薪の値下げ	20	10%
無料で使えるコンセントの開放	63	32%
大容量バッテリーの貸出	12	6%
テントサイトのスペースを広くする	13	7%
トイレをウォッシュレットタイプに変更	37	19%
非接触決済（クレジットカード・ペイペイ・IDなど）の導入	35	18%
WEB予約ができる施設の種類および数の増加	27	14%
無料で使えるWIFI環境の整備	34	17%
ごみの有料回収	62	31%
子どもが遊べる場所（アスレチック・そり坂等）の充実	48	24%
各種体験プログラムの充実	8	4%
その他	4	2%

### 【その他回答】

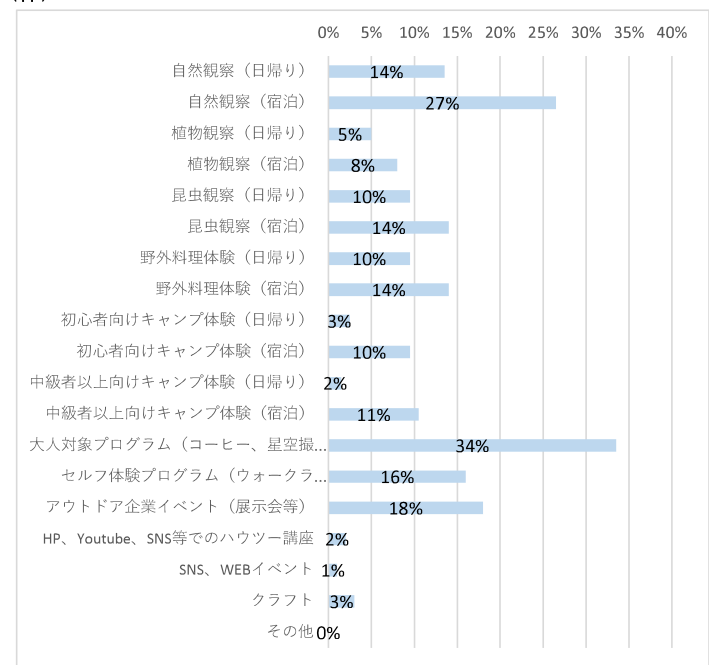
電源サイトを作って欲しい。  
 クリスマスやお正月のイベントが早く復活して欲しいです。  
 これ以上望むことはないぐらいパーフェクトですね。  
 マットの貸出



## 8 今後、定山溪自然の村で実施して欲しいプログラム（上位3つ）

N=200：複数回答（件）

	全体	200
自然観察（日帰り）	27	14%
自然観察（宿泊）	53	27%
植物観察（日帰り）	10	5%
植物観察（宿泊）	16	8%
昆虫観察（日帰り）	19	10%
昆虫観察（宿泊）	28	14%
野外料理体験（日帰り）	19	10%
野外料理体験（宿泊）	28	14%
初心者向けキャンプ体験（日帰り）	5	3%
初心者向けキャンプ体験（宿泊）	19	10%
中級者以上向けキャンプ体験（日帰り）	3	2%
中級者以上向けキャンプ体験（宿泊）	21	11%
大人対象プログラム（コーヒー、星空撮影等）	67	34%
セルフ体験プログラム（ウォークラリー、スノーシュー等）	32	16%
アウトドア企業イベント（展示会等）	36	18%
HP、Youtube、SNS等でのハウツー講座	4	2%
SNS、WEBイベント	2	1%
クラフト	6	3%
その他	0	0%



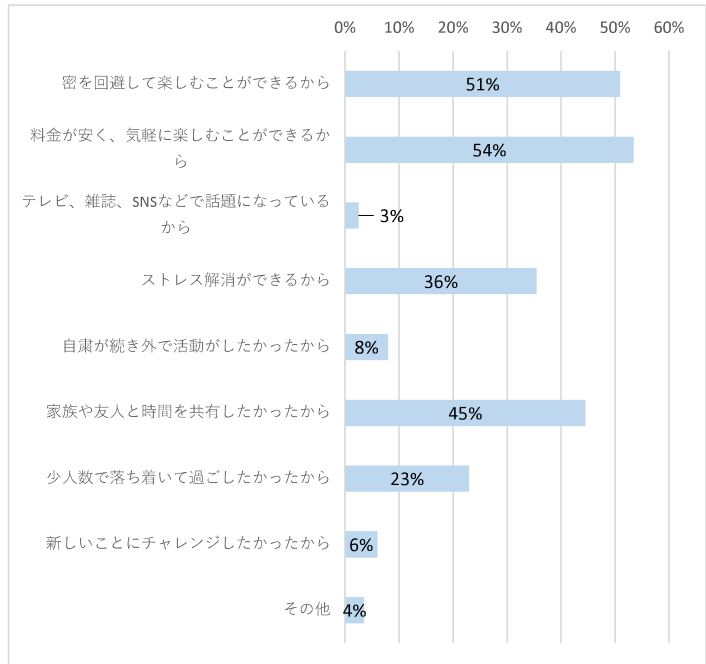
### 9 コロナ禍のレジャーの中で、キャンプを選んだ理由（上位3つ）

N=200：複数回答（件）

	全体	200
密を回避して楽しむことができるから	102	51%
料金が安く、気軽に楽しむことができるから	107	54%
テレビ、雑誌、SNSなどで話題になっているから	5	3%
ストレス解消ができるから	71	36%
自粛が続き外で活動がしたかったから	16	8%
家族や友人と時間を共有したかったから	89	45%
少人数で落ち着いて過ごしたかったから	46	23%
新しいことにチャレンジしたかったから	12	6%
その他	7	4%

#### 【その他回答】

冬キャンプがしたかった。  
ソロでも恥ずかしくなくなったから。  
もともとキャンプが好きだから。  
自然が好き。  
自然の中で過ごしたかった。非日常体験。



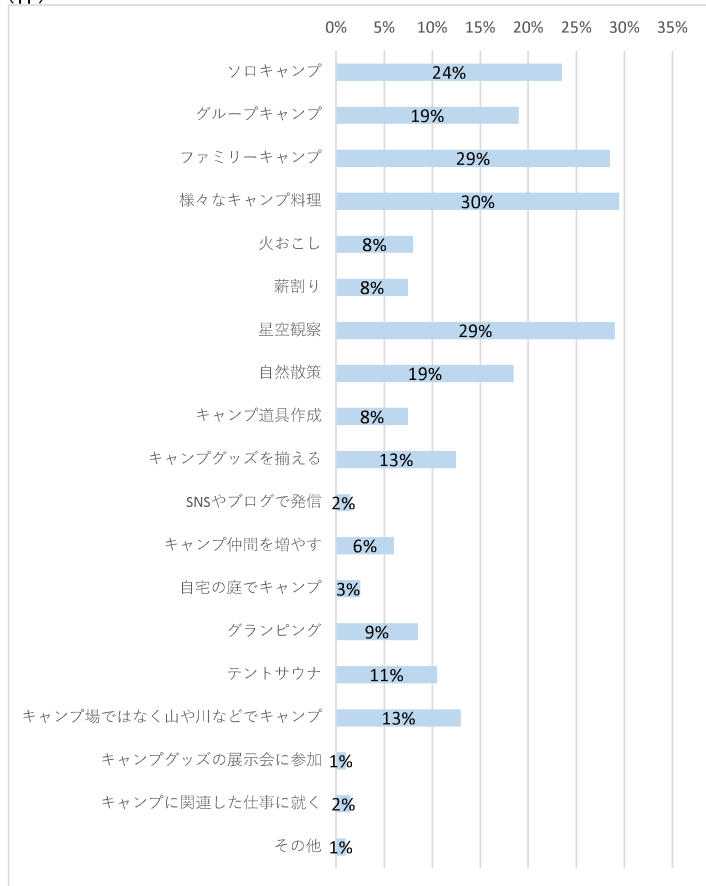
### 10 今後キャンプを続けていく中でやってみたい事（上位3つ）

N=200：複数回答（件）

	全体	200
ソロキャンプ	47	24%
グループキャンプ	38	19%
ファミリーキャンプ	57	29%
様々なキャンプ料理	59	30%
火おこし	16	8%
薪割り	15	8%
星空観察	58	29%
自然散策	37	19%
キャンプ道具作成	15	8%
キャンプグッズを揃える	25	13%
SNSやブログで発信	3	2%
キャンプ仲間を増やす	12	6%
自宅の庭でキャンプ	5	3%
グランピング	17	9%
テントサウナ	21	11%
キャンプ場ではなく山や川などでキャンプ	26	13%
キャンプグッズの展示会に参加	2	1%
キャンプに関連した仕事に就く	3	2%
その他	2	1%

#### 【その他回答】

野鳥観察

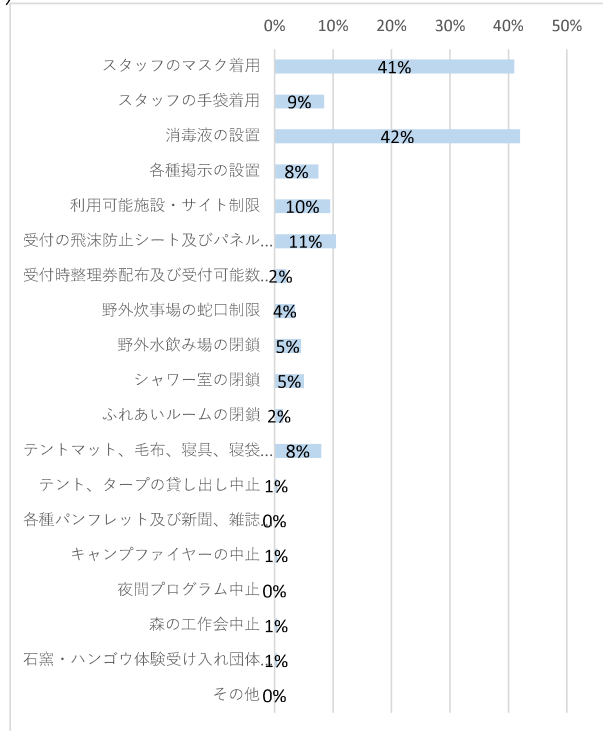


## 11 新型コロナウイルス拡大防止策について

### 【継続した方が良くと思う対策】

N=200：複数回答（件）

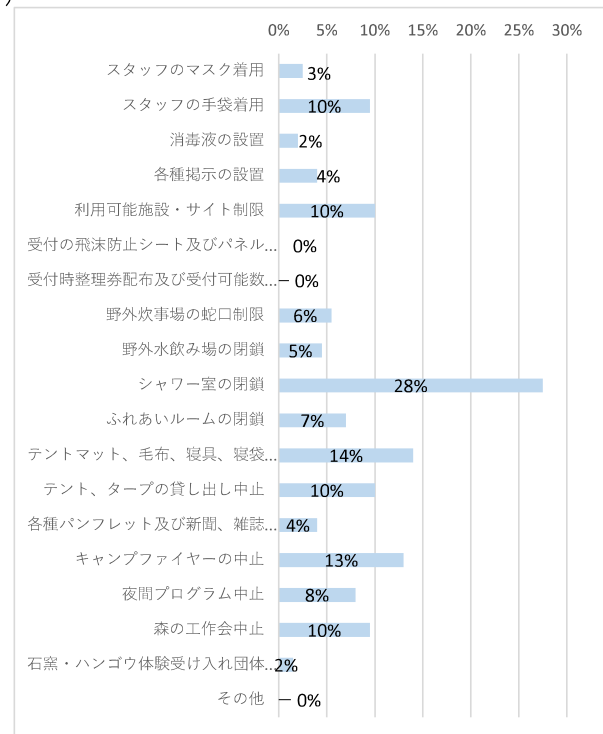
	全体	200
スタッフのマスク着用	82	41%
スタッフの手袋着用	17	9%
消毒液の設置	84	42%
各種掲示の設置	15	8%
利用可能施設・サイト制限	19	10%
受付の飛沫防止シート及びパネル設置	21	11%
受付時整理券配布及び受付可能数の制限	4	2%
野外炊事場の蛇口制限	7	4%
野外水飲み場の閉鎖	9	5%
シャワー室の閉鎖	10	5%
ふれあいルームの閉鎖	3	2%
テントマット、毛布、寝具、寝袋の貸し出し中止	16	8%
テント、タープの貸し出し中止	1	1%
各種パンフレット及び新聞、雑誌の閲覧中止	0	0%
キャンプファイヤーの中止	1	1%
夜間プログラム中止	0	0%
森の工作会中止	1	1%
石窯・ハンゴウ体験受け入れ団体数制限	1	1%
その他	0	0%



### 【止めても良くと思う対策】

N=200：複数回答（件）

	全体	200
スタッフのマスク着用	5	3%
スタッフの手袋着用	19	10%
消毒液の設置	4	2%
各種掲示の設置	8	4%
利用可能施設・サイト制限	20	10%
受付の飛沫防止シート及びパネル設置	0	0%
受付時整理券配布及び受付可能数の制限	0	0%
野外炊事場の蛇口制限	11	6%
野外水飲み場の閉鎖	9	5%
シャワー室の閉鎖	55	28%
ふれあいルームの閉鎖	14	7%
テントマット、毛布、寝具、寝袋の貸し出し中止	28	14%
テント、タープの貸し出し中止	20	10%
各種パンフレット及び新聞、雑誌の閲覧中止	8	4%
キャンプファイヤーの中止	26	13%
夜間プログラム中止	16	8%
森の工作会中止	19	10%
石窯・ハンゴウ体験受け入れ団体数制限	3	2%
その他	0	0%



### 【その他回答】

ほとんど必要ないと思う。  
寝具を忘れて大変でした。貸出再開してほしいです。